

はじめに（いつまでも健康で生き生きと暮らせるまちをめざして）

わが国は、世界に類をみない速さで少子高齢化が進んでおり、国民の5人に1人が65歳以上の高齢者という、超高齢社会を迎えております。さらに高齢化は今後も急速に進み、平成24年には団塊の世代が高齢期に到達することから4人に1人以上が高齢者となることを見込まれています。

国においては、この間、介護・医療などの社会保障制度を超高齢社会に向けて見直されましたが、今後、更に増加が見込まれる認知症高齢者へのケア、高齢者を支える介護・医療を担う人材確保など様々な課題への対応が求められています。



本市では、まちづくりの将来像である「森・里・街がきらめく ふるさと南丹市」をめざし、高齢者の方をはじめ、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らしていただけますよう、各種の施策に取り組んできたところです。今後とも、活力あるまちづくりを進めていくためには、高齢者自らが豊かな経験の蓄積を活かして、社会と関わりながら力を発揮できる機会の充実を図るとともに、介護を必要とされる方が尊厳を持ち自立した生活を送ることができるような地域づくりを行う必要があります。

このような状況のもと、今回、「南丹市高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、計画の基本目標である「健康で生き生きと暮らせるまち」の実現に向けて、市民、事業者、関係機関等の連携により各種の施策を展開してまいります。

市民の皆様をはじめ関係団体、事業者の方々におかれましては、事業の円滑な実施と計画の達成に向け、ご支援・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、計画の策定にご尽力を賜りました南丹市介護保険事業計画策定委員会の皆様をはじめ、ご意見を頂きました市民の皆様にご心から御礼申し上げます。

平成21年3月

南丹市長 佐々木 稔納